

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

この世で一番おもしろいマクロ経済学

著者名	ヨラム・パウマン	発行年	2012年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	232ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4478017838
コメント	みんなが一生懸命努力してるのに、世の中が良くならないって、どうということなの、ねえ！ そのカラクリをしっかり教えてもらえます。しかも爆笑しつつ。経済学の授業を受けていて迷路に入った気がしたら、ここで原点を確認するのもアリ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
しぞーか ☆	…別におもしろくない…たぶん僕がマクロ経済苦手だからなのかもしれないけれど昨日のマクロのテスト終わって(2番分からなかった…)ちょうどテスト勉強も終わって理解が深まったし読んで見ると…講義のレジュメではないぶん読みやすくなっているがおもしろいかといわれると…その後僕は本を棚に戻して友達とテストの打ち上げに向かったのだった。			
	1-20、途中10ページ	30P (30分)		2013/02/14 14:17:12
若陸 ☆☆	パラパラと読みすぎてあまり内容を覚えてませんが、そんなに面白くなかったです。話も内容も。 まあ本当に何も知らなかったら読むべきかな...という感じです。 教科書10分読んだほうがマクロ経済を理解できると思いました。			
	全部	232P (120分)		2013/02/13 02:26:26
うーば ☆☆☆	へーそうなんだーという感じ。ただ、これは数式で表すとこうなるんだよな、という知識の再確認はできるかも。ジョークはミクロよりは面白いと思う。ミクロよりは。ミクロよりは。			
	1-232	232P (120分)		2013/02/10 19:23:11
ひきこもり ☆☆☆	まあミクロと同じような感想です。履修前に読んでおけば理解しやすいと思う。			
	1-232	232P (150分)		2013/02/01 19:32:18
umi ☆☆☆	ミクロ本より分りにくかった。 ただ中央銀行がなぜ国債を発行してるのかやっとなかった……。大丈夫かな。			

	4-218	215P (120分)		2012/11/09 04:56:36
renkon ☆☆☆☆☆	これからマクロを学び始める今、手に取ってよかった。 マクロが焦点を当てる経済はミクロとどう違い、どう同じなのかがよくわかった。 見にくいけど愛嬌のある絵。			
	1-232	232P (180分)	5章,14章	2012/11/02 08:20:29
わに ☆☆☆☆☆	日本は食料自給率や農家を保護するために、輸入米に関税をかけています。自由貿易にすれば労働力の安い国の生活に困る人々が収入を得ることができ、日本人も安い米を買うことができます。どちらが正しい選択なのでしょう？ マクロ経済学者がどんなジレンマと戦っているかがわかりやすく書かれていて楽しく読めました。経済学をもっと知りたいと思いました。			
	すべて	232P (120分)		2012/10/14 10:56:40
R2D2 ☆☆☆☆☆	マクロ経済学における常識の中には、マクロ経済学を知らない人にとっては「何の意味があるの？」と言われるような、日本では一般に知られていないことが多く含まれるように感じた。マクロ経済学を履修する前に、概要を押さえておくのに手軽な一冊。			
	1-232	232P (120分)	14章	2012/10/09 07:41:00

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

不合理な地球人

著者名	ハワード・S・ダンフォード	発行年	2010年
出版社名	朝日新聞出版	ページ数	311ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4023308763
コメント	行動経済学の「コ」の字も知らない超初心者さん向け楽しいガイドブック。 アンカリングもプロスペクト理論もフレーミング効果も、あ、そんなカンタンなことなんだ、と宇宙人と一緒に大納得。ナッジもヒューリスティクスもサンクコストも、お、これで呑み会のネタが増えたぜとらしくマスター。ベイズの定理になると、ちょっときびしいかな。 そんな感じです。たくさん揃えた行動経済学系の本の入り口としてどうぞ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
サンダル ☆☆☆☆	会話の部分の訳でちょっと分かりにくいところもあったが、それ以上に分、内容の部分がわかりやすくかつシンプルに書いてあって良かった。			
	137-213	77P (60分)		2013/02/14 23:52:33
Lloyd Shapley ☆☆☆☆	2回目です。一回目は社会工学に入る前に受ける前に読みましたが、そのとき以上に基礎的な経済学を学びつつある今読むと面白いです。それは、行動経済学というのが従来の経済学を補うものだからでしょう。 実際に簡単なQuestionに答えながら、進んでいくのでとてもよみやすく面白いです。行動経済学の入門書としてよいかと。問題26が一番印象に残りました。計画は余裕もって、そしてなにかをするときはその分できなくなることを考える・まさに私のためにある言葉。 社会工学にも行動経済の先生を入れてほしいです。(まさに制度を考える上で重要なポイントだからです)			
	てきとうに	75P (35分)	265Pからと第四章	2013/02/14 20:45:10
34 ☆☆	現実世界でなにを合理的というかはなかなか難しいと思うからいちがいになにかを合理的でないというのはできないと思う			
	1-311	311P (311分)		2013/02/14 18:49:42
Shin Murota ☆☆☆	日々の鬱憤が晴れた気がする			
	1-200	200P (180分)		2013/02/14 06:50:44

<p>ばず ☆☆☆☆</p>	<p>例題を考えながら読み進めているうちに自分が不合理に生きているかがよく分かった。問題がたくさん用意してあって楽しみながら最後まで読めた。</p>	<p>1-311</p>	<p>311P (150分)</p>	<p>2013/01/08 10:30:30</p>
<p>たきごはん ☆☆</p>	<p>ちょっと内容がライトすぎるかな? ということで☆2つ。日常現れる「不合理な」現象についての行動経済学的説明を列挙した本ですが、「なるほど」以上の感想を抱きにくかった。もう少し踏み込んだ分析があつて、知的な刺激があれば嬉しかったかな。 ハワード氏と宇宙人ジョーンズのユーモラスな会話、興味深い逸話など、構成としては非常に読みやすくできているので、一般の人向けとしては良い本だと思います。</p>	<p>9-89,133-156</p>	<p>105P (60分)</p>	<p>2012/11/26 22:10:49</p>
<p>圧倒的(晒され)犬 ☆☆☆☆</p>	<p>どうして1杯目のビールは美味しいか、なぜプロジェクトの後には打ち上げをするのか、自分の並んだレジばかりが時間がかかるのはなぜか、定価を下げるのではなくキャッシュバックをするのはなぜか。そんな日常的な例を用いて不合理な地球人の行動を解説してくれます。 ケースには論理的に対応できるのに、実際の行動は不合理になってしまう自分に違和感を感じていましたが、それも理論で説明できるのかと、少し気が楽になりました。</p>	<p>1-311</p>	<p>311P (220分)</p>	<p>2012/10/26 10:59:24</p>
<p>rayban ☆☆☆</p>	<p>純粋な経済学だけでは説明のつかない、非合理的で一貫性のない人間のリアルな消費行動を、皮肉をまじえて解説している。 また、脳科学や心理学など、現代の経済学が及んでいる周辺領域についても触れている。 人々が言葉や時間に翻弄されたり、愚かな意思決定をしている様は、たしかに滑稽なのかもしれないが、それこそが人間らしさだと言えるのかもしれないと思わせてくれるような一冊。 時には損をしたり、騙されたりしながらも人間が経済活動をやめられないのは、そこにはお金には替えられないロマンがあるからなのかもしれない。</p>	<p>全部</p>	<p>311P (120分)</p>	<p>4章,7章,エピローグ 2012/10/16 16:28:02</p>

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

経済は感情で動く

著者名	マッテオ・モッテルリーニ	発行年	2008年
出版社名	紀伊國屋書店	ページ数	302ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4314010474
コメント	イタリア仕込みの行動経済学。話題はほかの本ともかぶるけど、トピックごとにいてないに解説してあるのがメリット。 楽しい実験例が豊富なので、つつい呑み会などで話したくなるけれど、度が過ぎてウザがられないように。これを「後悔回避 regret aversion」と申します。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
Shin Murota ☆☆☆	眠気との勝負。			
	1-24	25P (30分)		2013/02/14 07:32:58
ひきこもり ☆☆☆	実験の例があって分かりやすい。			
	1-119	119P (120分)		2013/02/11 02:19:56
東海大 ☆☆☆☆	経済の話なので、自分の知ってることもでてきて面白かった。 そして自分の合理性のなさにも気づかされた。			
	全部	302P (320分)		2013/02/10 13:37:47
ポール ☆☆☆☆	わかりやすく書いてあったから読みやすかった。経済を勉強しているからかとても興味深い内容ばかりだった。			
	1-316	316P (660分)	245-250	2013/01/22 18:36:05
sub ☆☆☆☆	自分自身が思っている以上に合理的な判断はできていないものだ気が付かされた。			
	13-314	302P (210分)		2013/01/15 02:47:42
どんぐり	合理的だと思っている自分の判断は本当に合理的なのかと見直させられる一冊でした。また、人間はやはり機械のように見ために左右されないわけではないということがわかりました。人間つ			

☆☆☆	て面白い。			
	1~250ページ	250P (300分)		2013/01/04 01:33:16

わに ☆☆	<p>ぼくはバイトの休憩のとき、すき屋のねぎ玉牛丼（並）380円をよく食べます。でもいつもすき屋だと飽きるので、近くの丸亀製麺や富士そば、中華屋さんに行くときもあります。そんなときメニューを見るといつもいつもじーっと悩んでしまうのです。たいしておなかも膨れないのにうどん一杯で400円もするのかぁ・・・とか、ラーメンチャーハンセット頼んだらねぎ玉牛丼2杯食べれるじゃん・・・とか。そんなときは数十円、数百円がとても大事に感じられるのです。しかし、デートのときは数千円でさえ惜しみなく、いやむしろ喜んで払ってしまう。</p> <p>これが人間の性なのです。</p>			
	1-136	136P (40分)	目次	2012/12/12 16:24:40

サンダル ☆☆☆☆☆	<p>行動経済学をよく知らなくても楽しく読めた。 実験の例がわかりやすい。</p>			
	19-136,300-314	131P (60分)		2012/11/23 23:31:42

圧倒的(晒され)犬 ☆☆☆	<p>「不合理な地球人」を先に読んでいたものとしては途中まではネタがかぶりまくっていてあまり面白くなかったのが残念である。ただこちらのほうがケースの例示が多いので、具体的に考えやすいかもしれない。というのが2章までの感想。 パート3はニューロンの動きと合理的判断とか、脳科学と経済学の話で、これはかなり刺さる人が多い内容かと思った。「幼児の方がホモ・エコノミクスである」(ある面において)というのは皮肉な話だなーと思った。</p>			
	13-316	304P (240分)	パート3(220ページ以降)	2012/11/19 11:22:54

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

予想どおりに不合理 増補版/不合理だからすべてがうまくいく

著者名	ダン・アリエー	発行年	2008年
出版社名	早川書房	ページ数	314ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4152091666
コメント	小ネタのオンパレード、あたかも回転寿司の如し。 オレってどうしていつも締め切り直前にしか始められないんだろ、とか、ダメカレだからさっさと振っちゃいたいの に、なんで見切りを付けられないのかしらん、とか、日頃のあなたの不合理行動を実験ですっきり証明してみせま す。 なんだ、みんなそうなんだと安心できるかもしれないけれど、だからって問題を解決してくれるわけじゃないのね。 そこが行動経済学のウィーク・ポイントと見た！		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
TDF ☆☆☆☆	こっちは、「不合理だからすべてがうまくいく」のほうへのコメント。 第1章や第3章が特に面白いと思う。日常的な疑問から出発して、実験モデルを考え、結論を導き出 す著者の実力に感服。 まだ、行動経済学には多くのフロンティアがあるのだなと思わされる。			
	1-413	413P (300分)	第1章	2013/02/14 20:19:29
TDF ☆☆☆☆	行動経済学の本で、ユーモアもあり、全体としてわかりやすい。 著者の分析する視点と、実験結果の考察が面白いと思う。 第6章の「先延ばしの問題と自制心」はテスト前に読むべき。			
	1-440	440P (120分)	第6章	2013/01/27 09:30:00
sub ☆☆☆	各々の実験に基づく不合理な意思決定は興味深いものであった。 結局、『不合理だからすべてがうまくいく』のまとめが実験をしてから結論を下そうという形で終 わった事には驚いた。			
	1-387	387P (330分)		2013/01/18 23:09:29
	『予想通りに不合理 増補版』と『不合理だからすべてがうまくいく』は同一の本ではないのです が、なぜひとまとめになっているのでしょうか？ それはさておき、僕は『不合理だからすべてがうまくいく』を読んでいます。行動経済学は完全に合 理的でない、限定的に合理的な現実的な人を経済モデルで分析する分野です。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフ
ィール

掲示板

Lloyd Shapley

☆☆☆☆

各章のまとめを見ればわかるとおり、実験結果はいわれてみれば当たり前のことなんです。ただ、それらを得るための実験設定が大変おもしろい。あとは、いかにここで得られた知見を実際の制度設計や経済分析に役立てるかだと思います。そのためには、えら得れた実験結果をもう少し数学的にモデリングしたり、解析できれば面白いのかなと。

1-209

209P (120分)

各章の最後にあるまとめ

2013/01/07 23:22:40

H

☆☆☆

今回は、目次を見て学生生活に関わりがありそうな場所を優先的に読んでみた。レポートを始めるのが、往々にして閉め切り前日である自分が「先延ばしの問題と自制心」をよんだときに思ったことは、「それができれば苦労しねえ」であった。

89-294

206P (180分)

190-223

2012/10/22 16:23:20

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

ヤバい経済学/超ヤバい経済学

著者名	スティーヴン・レヴィット&スティーヴン・J・ダブナー	発行年	2007年
出版社名	東洋経済新報社	ページ数	379ページ
値段	2,000円	ISBN	978-4492313787
コメント	行動経済学系の本のなかでも、人ひとりの行動でなく、社会全体の構造をマナイタに乗せて料理しているところが特徴です。犯罪の発生率の劇的減少を中絶の合法化から説明する、というように。ひとつのテーマの掘り下げがそこそこ深くて、あまりコマギレでないのもGOOD。そして、語り口の軽やかさは、さすがベストセラー。超ヤバい続編もどうぞ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
TDF ☆☆☆	数年前に話題になった記憶がある。 日本人なら、大相撲の八百長を統計的に分析した1章と、筆者がおそらく最も力を入れて分析したであろう妊娠中絶合法化と犯罪数の関係についての4章を読めばいいと思う。 名前のところは正直、興味なかった。			
	1-448	448P (180分)	1章、4章	2013/02/14 19:56:22
Shin Murota ☆☆☆☆	超ヤバイ			
	1-250	250P (180分)		2013/02/14 06:57:59
うーば ☆☆☆☆	時間がなくて途中までしか読めなかったけど結構面白かった一冊。 時間があれば最後まで読みたかった。 この本に対してさらに批判的視点を持って読むと良いかも。			
	1-122	122P (160分)		2013/02/10 19:28:31
rayban ☆☆☆☆	まさにクレイジー！ 統計が暴き出す“有意に異なる”世界へようこそ。 一見すると全くないように見える因果関係でも、数字はそれを知っているのです。 世の中には思いもよらない事件と事件が思わぬ所で繋がっているかもしれない。そのタブーを暴きだしてしまうのが経済学者なのです。 彼らにかかれば、八百長問題も実は明らかだった！？ この本、なんとドキュメンタリー映画にもなっています。そちらも是非どうぞ。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

	ぜんぶ	448P (300分)	八百長問題	2013/01/26 22:28:47
H ☆☆☆	とりあえず、本を開いて驚いたのはその語り口です。アメリカのブラックジョーク満載の映画を小説化したらこういう語り口なんだろうなあ、というイメージです。第4章のシートベルトに関する話題が面白かった。			
	1-75,169-208	114P (90分)	187-190	2012/10/31 12:03:36

[TOP](#)△

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

競争と公平感

著者名	大竹文雄	発行年	2010年
出版社名	中公新書	ページ数	245ページ
値段	780円	ISBN	978-4121020451
コメント	何を以て「公平」と認定しますか？ 社会が大きく壊れてしまった3・11以後、この問いはとても切実に響きます。 職業や賃金は能力に応じるのが公平？でも、努力と能力は比例しないわけだから、がんばっても低賃金、怠けても高賃金になっちゃうけど、それでOK？ 諸外国と日本との価値観の違いなど、データをもとにたくさんの問題の切り口を提示してくれます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
TDF ☆☆☆☆	大竹先生の本で、経済学を使った様々な研究が紹介されている。 海外の翻訳本で似たようなのはあるけど、大竹先生のテーマである格差や社会保障に大きく切り込んでいるのが類書にはない点だと思う。			
	1-243	243P (120分)	身長と年収	2013/02/14 19:31:34
たきごはん ☆☆☆☆	経済学を概観する上でとても良い本だと思います！いま世界の経済を形作っている「競争市場」のメリットとは？というbasicな問いかけから始めて、スポーツや脳科学との関わりも交えつつ、経済学がどのように活用できるかをまとめた一冊。ぼくが感心したのは、「経済状態が価値観に影響を与える」という一節。とくに、18歳～25歳の時期に不況を経験していたりすると、運やコネを重視する価値観が育ちやすいんだとか。不況の申し子たる僕らとしては、知っておくべきことでしょう！ 経済学を学ぶ理由についてまとめたあとがきもオススメ。今後、経済学ってどういうもの？と聞かれたら、この本を薦めようと思います。			
	1-233	233P (120分)		2013/02/13 23:01:37
しゅ ☆☆☆☆	経済学を学ぶ意味。 もっとちゃんと勉強しようと思った。			
	ぶろろーグ+ 219~ 228	20P (10分)		2013/02/12 16:02:47
umi ☆☆☆☆	経済本だった。「後悔する人間を前提としてシステムを設計することが不可欠」というくだり、本当にその通りだと思う。夏休みの宿題を終わらせない人についての考察が出てきたが、今もレポートに追われている自分はどうなるんだろう。			

	ぜんぶ	245P (180分)		2013/01/22 12:42:52
--	-----	-------------	--	---------------------

Lloyd Shapley ☆☆☆☆	<p>まだ途中ですが、とりあえず。 いやぁ経済学は広いね。経済学は人間を扱う学問だから社会学、心理学、生物学ともコラボしているんだということを豊富なデータとともに平等と公平感という切り口から示してくれている。</p> <p>たとえば、出生時体重が10%増加すると所得が1%増加するらしい。(例; 250g重く産めば将来年間凌駕特盛ラーメン133杯分、つまり5320g多く食べられるということだ!)</p> <p>ただ、こういった面白いことはあくまで相関関係であって、因果関係ではないのでご注意ください。</p> <p>ちなみに、本書は大土井先生の推薦図書でもある。</p>			
	1-245	245P (150分)	「小さく産んで大きく育てる」は間違い?	2013/01/07 23:11:16

圧倒的(晒され)犬 ☆☆☆☆	<p>行動経済学であったり日本における貧困と教育の相関であったり、今までの授業関連で読んでいろいろな本とリンクする話が多く、読み進めやすかった。様々なデータをその実験とともに自説の強化に援用しており、興味深い。ただ雇用形態のパラダイムシフトは少しユートピアかもしれないと思った。</p>			
	i-xii 1-233	245P (150分)		2012/11/24 01:16:25

[TOP](#) ^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

大相撲の経済学

著者名	中島隆信	発行年	2008年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	237ページ
値段	680円	ISBN	978-4480424280
コメント	相撲協会とは、これすなわち250年も続いている格闘技ビジネスのシステムなり。実力主義なのに年功序列。神とも崇められているはずの貴重な横綱の給料はたった282万円。年寄株に八百長と数々の特殊性に彩られたこの相撲産業を経済学の視点で分析すると、さてどうなるか。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
44 ☆☆☆☆	なんか無理矢理感があってやめた。			
	1-29	29P (34分)		2013/02/14 21:56:55
たきごはん ☆☆☆☆	経済学とスポーツ（あるいは、ほかの競争的なことから）の関わりについて興味を持っているので、その実例として読んでみました。制度の作り方によって選手のインセンティブも変わり、駆け引きや、観客の楽しみ方にも影響してくるんだな...と驚きました。 「制度設計コース」って、なかなか含蓄のあるネーミングだったんですね。			
	1-270	270P (150分)		2013/02/14 20:04:15
しぞーか ☆☆☆☆	相撲の仕組みをぜんぜん知らなかったのだからうろこのことが多かった。また日本人横綱が出てきてほしい。			
	1-260	260P (180分)		2013/02/12 14:54:09
しゅ ☆☆☆☆	馴染みのない角界の話。ささっと内情を知るのによかった。本当に、伝統の世界なんだなと感じた。			
	1-94	94P (30分)		2013/02/07 14:58:04
K ☆☆☆☆	馴染みなく、一見仕組みの分からない角界の構造を、経済学的に読み解いた本。ミクロ経済の講義で得た知識が、具体的に使われる面白さも味わえます。			
	1-237	237P (120分)		2012/11/14 00:46:30

圧倒的(晒され)犬
☆☆☆☆☆

八百長、年寄り制度、横審、茶屋制度といった相撲独特のシステムを経済学という切り口から考察した本。一見不合理に見える伝統的システムでも、角界という閉ざされた特殊な世界で伝統を保っていくにはもっとも合理的だったりするという面白さを理解できる。制度を作るときにターゲットやゴールが如何に重要か考えさせられる一冊。

15-270

256P (120分)

2012/10/13 10:26:12

本の虫
☆☆☆

力士の特殊な給料制度を経済学的な観点から解説していてわかりやすかった。

21-74,111-130,147-
166

94P (90分)

39-56

2012/10/09 10:16:48

[TOP](#)△

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

その数学が戦略を決める

著者名	イアン・エアーズ	発行年	2010年
出版社名	文春文庫	ページ数	453ページ
値段	733円	ISBN	978-4167651701
コメント	「絶対計算」何それ?と思ったらどうぞ。 各章にコンパクトなまとめが付いているので、そこをインデックス代わりに拾い読みすると早道です。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
34 ☆☆☆☆	統計がどのようにつかわれているかを知れて面白かった			
	1-100	100P (100分)		2013/02/14 11:07:46
rayban ☆☆☆	ヴィンテージワインの価格推移予想から始まり、野球選手の実績、最高裁の違憲審査などを予測するシンプルな回帰分析が、その分野を分析するいわゆる「専門家」に勝るところから始まる。統計的にコンピュータが医療診断を行うことで誤診が減ったり、映画のシナリオや論文の引用回数を予測できたりと、まさに統計恐るべしといったところである。日本では、こうした回帰分析はビジネスや医療・法律の世界でアメリカと比較して相当利用が遅れているが、このようなマーケティングがあらたな技術革新を生み出す日も近いのではと予感させる、そんな一冊。			
	ぜんぶ	453P (200分)	医療診断・映画のシナリオ予測・ニューラルネットワーク	2013/02/11 00:06:24
TDF ☆☆☆☆☆	「絶対計算」と翻訳されているが、最近話題のビッグデータによる統計分析の威力について論じた本。 その威力のすごさが全体を通して伝わり、いわゆる「予測専門家」の仕事は将来なくなってしまうのではないかとという思いに駆られてします（もちろん、著者はそうではないと本文中で述べている）。 補訂で、絶対計算へのかかわり方も書かれており、全体として、いい本だと思う。			
	1-453	453P (110分)	100-120	2013/01/27 09:22:06

[TOP](#)

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

その数学が戦略を決める

著者名	イアン・エアーズ	発行年	2010年
出版社名	文春文庫	ページ数	453ページ
値段	733円	ISBN	978-4167651701
コメント	「絶対計算」何それ?と思ったらどうぞ。 各章にコンパクトなまとめが付いているので、そこをインデックス替わりに拾い読みすると早道です。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
34 ☆☆☆☆	統計がどのようにつかわれているかを知れて面白かった			
	1-100	100P (100分)		2013/02/14 11:07:46
rayban ☆☆☆	ヴィンテージワインの価格推移予想から始まり、野球選手の実績、最高裁の違憲審査などを予測するシンプルな回帰分析が、その分野を分析するいわゆる「専門家」に勝るところから始まる。統計的にコンピュータが医療診断を行うことで誤診が減ったり、映画のシナリオや論文の引用回数を予測できたりと、まさに統計恐るべしといったところである。日本では、こうした回帰分析はビジネスや医療・法律の世界でアメリカと比較して相当利用が遅れているが、このようなマーケティングがあらたな技術革新を生み出す日も近いのではと予感させる、そんな一冊。			
	ぜんぶ	453P (200分)	医療診断・映画のシナリオ予測・ニューラルネットワーク	2013/02/11 00:06:24
TDF ☆☆☆☆☆	「絶対計算」と翻訳されているが、最近話題のビッグデータによる統計分析の威力について論じた本。 その威力のすごさが全体を通して伝わり、いわゆる「予測専門家」の仕事は将来なくなってしまうのではないかとという思いに駆られてします（もちろん、著者はそうではないと本文中で述べている）。 補訂で、絶対計算へのかかわり方も書かれており、全体として、いい本だと思う。			
	1-453	453P (110分)	100-120	2013/01/27 09:22:06

[TOP](#)

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

統計数字を疑う

著者名	門倉貴史	発行年	2006年
出版社名	光文社新書	ページ数	275ページ
値段	740円	ISBN	978-4334033750
コメント	前半はちょっとたいくつかも。いきなり第4章から攻めるのが、おすすめ攻略法です。地下経済の話なんかは、GDPの上っ面では分からない貴重な視点です。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
サンダル ☆☆☆	ホンマでっかに出ていた人が書いたとは思えないほど真面目な内容で少し退屈だったが、まあわかりやすかった。			
	56-100	45P (30分)		2013/02/14 23:53:49
SYLPH ☆☆☆☆	統計の知識の必要性を実感させられた。			
	全部	275P (200分)		2013/02/14 14:50:06
Shin Murota ☆☆☆☆	特に興味わかなかったけど、テストには役立った気がする			
	1-150	150P (120分)		2013/02/14 07:27:47
東海大 ☆☆☆☆	最初のほうは面白くなかった。後半は特に確か5章あたりの地下経済のところに興味深くてよかった。統計の話が多いので、読み進めやすくよかった。			
	全部	275P (300分)		2013/02/12 23:28:18
TT ☆☆☆	経済学や統計学など実際に勉強していることについての内容だったのでとても面白かった。制度設計の人にオススメ			
	1-275	275P (270分)		2013/01/21 23:21:14
ひきこもり	生きているといろんな場所でいろんな数字を発見する。その数字を鵜呑みにして騙されないように喚起する。個人的には5章が面白かった。綺麗ごとだけでは世の中は説明できない。			

☆☆☆☆	3-275ページ	273P (150分)		2012/11/11 22:55:40
------	----------	-------------	--	---------------------

圧倒的(晒され)犬 ☆☆	<p>5章の地下経済のケースが一番興味深かった。 統計に表れない母数に含まれない集団を意識せずに統計だけを見てしまうと実感と異なるものになるらしい。しかし、ケースの限られる実感よりは統計のほうが正しいことが多いらしい。 要は鵜呑みにするなということですか。 経済効果とかは面白いから好きなんですけど案外適当なものらしく、面白い程度に留めておきたいと思います。</p>			
	全部	273P (240分)	5章	2012/11/02 16:50:12

renkon ☆☆☆	<p>1章は読み飛ばしてOK。 4・5章は途中で飽きてしまったけども、経済を学び進めていく上で知っておかねばならないことだと思う。一通りマクロを学んでからココを読み直したい。</p>			
	1-99,145-224	179P (120分)		2012/10/16 08:39:11

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

なぜ3人いると噂が広まるのか

著者名	増田直紀	発行年	2012年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	239ページ
値段	850円	ISBN	978-4532261559
コメント	ネットワーク分析の応用範囲の広さが楽しい。グーグル検索エンジンはもちろん、インフルエンザの感染も、生物の食物連鎖も、スポーツ選手の世界ランキングも、ああそういう観点で見てるのかと納得。じゃあ、自分は何に应用してみようかなと触発されるヒント集です。その意味では前半がおすすめ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
44 ☆☆☆☆	ネットワーク理論について、中心性と三角形に焦点を当てて紹介されている。研究を得られて得た知見をどうビジネスや生活に生かすかなど内容は様々			
	1-239	239P (210分)		2013/02/14 21:48:36
TDF ☆☆☆☆	ネットワーク理論の成果みたいなのを簡単に紹介した本で、いろいろ役に立ちそうなことがのってる。友達関係 (9章) とかは、意識しておくのと良いのかも、			
	1-239	239P (60分)	第2章、9章	2013/02/14 19:34:39
homes ☆☆☆	ネットワークがいかに重要であるかを知った。ネットワーク広げていきたいです。			
	1-239	239P (100分)		2013/02/13 22:20:32
aya ☆☆☆☆☆	現実世界のことをわかりやすく説明してあってすごく面白かった。人生に役立てたいと思った。			
	全部	239P (150分)		2013/02/13 09:01:09
SYLPH ☆☆☆	あらゆる場面でネットワークの概念を適用していて、興味深かった。ネットワークの定義って、ちゃんとあるんですね。			
	全ページ	239P (200分)		2013/02/11 14:19:26
ポール	図も書いてあってわかりやすく、読みやすかったです。お勧めです。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

☆☆☆☆☆	1-239	239P (180分)	189-211	2013/01/09 21:08:57
ばず ☆☆☆☆	三角形の重要さがよく分かった。			
	18-229	212P (120分)		2013/01/08 10:32:13
TT ☆☆☆☆	人と人との関係について述べられており、とても興味深かった。これからの人生にも役立ちそう。			
	1-239	239P (150分)		2012/11/27 00:40:50
だれそれ ☆☆☆☆	社会ネットワークが使われる幅の広さに驚いた。 友達が3人未満の人を見ると憐れに見えてくる。			
	P1-229	229P (150分)		2012/11/19 23:19:22
umi ☆☆☆☆	社会ネットワークに関する本。 友人のネットワークにおける三角形の話は面白かった。確かに3人以上の友人関係のほうが長続きしやすい気もする。ページランクに関する話にも興味を惹かれた。			
	1-239	239P (180分)		2012/11/13 07:10:56
たきごはん ☆☆☆	ネットワークとして様々な社会事象を定式化し、分析していく本です。生態系と金融ネットワークに、こんな共通点があったとは！ 個人的に興味深かったのは、立ち読みポイントに挙げた「3人いれば友情が続く」の項。身の周りのネットワークを見つめ直し、改善するきっかけを作ってくれるかも？			
	3-161	159P (120分)	124-127	2012/11/13 01:47:59
東海大 ☆☆☆☆	人と人との繋がり等、主にネットワークについて書いてある。 病院内での感染についてや、食物連鎖についての部分は特に興味深く、この世の中には複雑なネットワークが多数あると思った。社会ネットワーク理論の授業でやった内容もでていて、社工に関係ある本だと思うので、おすすめです。			
	1-239	239P (150分)		2012/11/10 15:02:22
R2D2 ☆☆☆☆	「ビジネス顕微鏡」というアイデアは、社会のなりたちについて新しい角度からとらえるネットワーク理論の、トガった感じが前面に出た発明だと思う。 第3章、「食うか食われるか」の食物連鎖と金融機関の類似についての記述が好き。貨幣が循環して成り立つ経済の研究にも応用が期待できるのが、ワクワクする。			
	1-239ページ	239P (130分)	第3章	2012/10/29 22:47:52
Lloyd Shapley ☆☆☆☆	東大で教えていらっしゃる若き増田先生が著者。 ネットワークの科学は大変私には興味深かったし、とても応用範囲が広く、これぞ社会工学的な分野なのではないだろうか。 この本に興味をもたれた方には著者である増田先生が述べているように、同著者の「複雑ネットワーク」とは何か—複雑な関係を読み解く新しいアプローチ(ブルーボックス)を読むことを勧めます。 また、社会シミュレーションという講義(5学期)を東工大で同先生は担当されている。来年も担当されるかはわかりませんが、是非受けられることを推奨します。			
	1-100	100P (75分)	病院内の感染のところ	2012/10/22 23:59:35

あさひな ☆☆☆☆	<p>これも、こんなものもネットワークとして表現されるのかー！と感心します。</p> <p>タイトルに惹かれましたが、要はネットワーク分析に関する本です。人間関係に関する章など特に興味深いです。まあ実践の場はないんですけど…</p> <p>ひとつひとつの分析例が短く、テンポよく紹介されているので、ふんふんと感心しながらサクサクと読み進められます。</p> <p>専門的な知識や背景が問われないのでどなたにも楽しめる内容だと思いますが、情報系の分野をかじった方には特におすすめ！</p> <p>大変興味深かったため、もっと踏み込んだ内容も知りたい！と思いました。面白かったです。</p>		
	1-239	239P (150分)	2012/10/17 20:08:50

K ☆☆☆☆☆	<p>5学期の集中講義「社会シミュレーション」で教鞭を振るう増田先生の本。</p> <p>複雑ネットワークの具体例など、面白く書いてあります。</p> <p>学問の本としてだけでなく、人間関係を上手く築く手助けにもなりそう。</p> <p>オススメ。</p>		
	1-239	239P (180分)	2012/10/10 21:13:43

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

これからの「正義」の話をしよう

著者名	マイケル・サンデル	発行年	2011年
出版社名	早川書房	ページ数	475ページ
値段	945円	ISBN	978-4150503765
コメント	大ブームとなった哲学書。 破綻した銀行に公的補助は必要? のような事例から、ベンサムやロールズや、判断のよりどころとなる思考体系へといざなってゆく手法が絶妙。哲学の高い峰のはずなのに、名案内人のおかげでするす登れてしまう、みたいな。 がつつり取り組んでも爽りは多いけれど、ここは濫読道場。 ぱっと開いて具体的な事例を探す →自分だったらどう判断するか30秒だけ考える →解説を読んで自分は功利主義者かリバタリアンか判断するというつまみ食い法も有効です。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
Lloyd Shapley ☆☆☆☆	自分がプレゼンしたところの続きが気になってよみました。 大学側がその使命や目的などを考慮して人を選ぶのであって、その人の努力に対する報いや栄誉を与えているわけではない。そう考えれば多様性を確保したいという大学の目的から考えるとホップウッドちゃんが落とされたのは、仕方ないのかもしれない。 だからこそ、自分の才能で勝ち取った合格でないのだからがんばる必要がある。こういう考え方素敵です。 春休み中に本書を読み込みたい。			
	7章	21P (15分)	不合格と合格通知	2013/02/14 23:36:56
SYLPH ☆☆☆☆	よく聞く評判通り、政治哲学という厳しいテーマの割に分かりやすかった。			
	全部	475P (300分)		2013/02/14 14:09:23
H ☆☆☆	NHKで放送してたのが面白かったので、いつか読みたいと思っていた本です。時間があるときにまたゆっくり読みたいです。			
	1-123	123P (90分)		2013/02/04 19:57:00
34	理想論を追うのではなく現実的にあり得る極限の選択肢から正義について書いているのが面白い			

☆☆☆☆☆	半分くらい7	200P (200分)		2013/01/26 00:21:39
umi ☆☆☆	みなさんのおすすめの3章を飛ばしてしまった、とても難しそうだったので具体例の出るところだけ読んだ。			
	入試に合格したってのはくじに当たったようなものというのはすごい納得。			
	1.2.6.7.10章	200P (180分)		2013/01/22 12:37:12
あさひな ☆☆☆☆	家に同じ本があるのですが、ずっと放置しててチマチマ読みつつ、最近やっと読み終わりました……			
	長い、重い、そして難しい。 正義と聞いて、リベラリズムの話かな?と思ったら、あれ?違う。 様々な事例や実験が色々な観点から紹介されているのが面白いです。			
	一気に全部読もうとするとめっちゃくちゃ重いので、小分けに読むかパラパラっとめくって気になる箇所だけ読むのがいいと思います。面白いし勉強になるけれど、疲れます。			
	でも、話題を呼んだ本でもあるので、読んでおいて損は絶対ないと思います。 物事を考える際の視野がグッと広がります。			
	文章だけでなく講義のビデオとかも見てみたいな～、			
	1-475	475P (540分)		2012/12/20 21:33:12
renkon ☆☆☆☆☆	難しいけど、おもしろい本です。 とっかかりやすい3章のリバタリアンの話、個人的に面白かった5章のカントの哲学を立ち読みにおすすめします。 AをとればBは損なわれる。では、中庸はどこか? 正義って難しいですね。 これを読んで、普段自分がどれだけ思慮浅く生きているかがわかりました。			
	1-475	475P (500分)	3・5章	2012/11/08 23:45:15
若陸 ☆☆☆☆	一時期話題になった、'正義'の話。 この本は、日本語の'正義'というよりも英語の'justice'の語源であるナントカに意味があるとかないとかどうのこうのと早稲田大学の友達にウンチクを垂れ流されたことを思い出したので読んでみました。			
	難しいです。難しいうえに、筆者であるマイケル・サンデル氏に「お前の思考には一貫性がない！このトンチキ！」と怒られてる気分になってきます。 ですが、実際そうなのです。ある問題に対して持った思考も、その状況が変わると一変.....論理的にそれを追っていくと、思考には一貫性がないということに。			
	第3章のリバタリアニズム(自由至上主義)はオススメです。			
	1-123	123P (200分)	97-123	2012/10/11 23:33:41

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

超訳 ニーチェ

著者名	フリードリッヒ・ニーチェ	発行年	2010年
出版社名	ディスカヴァー・トゥエンティワン	ページ数	232ページ
値段	1,785円	ISBN	978-4887597860
コメント	ページからページへ、哲人の遺した232のメッセージを旅するうちにどこかで「ヤラレタ」とうならされる言葉に出会えるはずで、きっと。 ヤマムロの「ヤラレタ」ポイントは40ページでした。ぐさり。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
rayban ☆☆☆	良くも悪くも、ニーチェの「超」入門書。 どちらかという、哲学というより自己啓発本のような。			
	ぜんぶ	232P (100分)		2013/02/14 21:14:03
SYLPH ☆☆☆☆	疲れてる時は何もせずに寝るようにします。			
	全部	232P (120分)		2013/02/14 14:27:26
Shin Murota ☆☆☆☆☆	やられた。むろた、やられました。			
	1-232	232P (240分)		2013/02/14 07:00:33
renkon ☆☆☆☆☆	高校のときに倫理で学んでからニーチェの言葉が好きです。この本を手取るのも2回目でした。			
	1-230	230P (60分)		2013/02/13 20:29:56
homes ☆☆☆☆☆	ニーチェがイケメン過ぎてぐうの音もでない			
	ぜんぶ	232P (100分)		2013/02/13 15:14:41
20 ☆☆☆☆☆	自己啓発本としてよくまとまってると思います しかも読みやすい(^^)d 悩んでいるときにはいいアドバイスをくれる本です！ 人間の本質は昔も今も変わらないんだなあって思いました			

	すべて	232P (200分)		2013/02/13 13:38:10
しゅ ☆☆☆	こういう名言集みたいな本には少し嫌悪感を持ってたけど、簡単な自己啓発本だと割り切ったら案外楽しめました。			
	全部	232P (30分)	144, 222	2013/02/10 12:40:09
sub ☆☆☆	理解が難しい言葉、納得できない言葉、共感できる言葉など一言一言に対して常に何かしらのことを考えながら読んだ一冊だった。			
	1-232	232P (60分)		2012/12/30 17:08:19
芳乃さくら ☆☆☆☆	半分ぐらいは自分なりに昔から考えてきた物に含まれるが、残り半分は言われればそうだが考えた事もなかったような物だった。普段から物事を考える人には、何か新たな刺激となるだろう。			
	1-232	232P (30分)	151-175	2012/11/06 12:37:29
ひきこもり ☆☆☆	いつ、どんな感情で読むかによってグッとくる言葉は変わりますが誰でもどれかひとつはグッとくるはず。 栞を挟んでいたのが高校時代の自分は218ページにグッときていたのでしょうか。			
	1-232ページ	232P (30分)		2012/10/16 02:54:03
R2D2 ☆☆☆	あらゆる人が読んで、何ひとつ箴言とならない人はいないだろう。街に出よう(p.148)などは私に向けられた言葉だと思う。文脈が気になるので、もとの文章を訳書で読んでみたい。			
	1-232ページ	232P (160分)		2012/10/09 20:21:04

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

動的平衡 1・2

著者名	福岡伸一	発行年	2009年
出版社名	木楽舎	ページ数	240ページ
値段	1,524円	ISBN	978-4863240124
コメント	いやもう、生物の話って、なんでこうもおもしろいんだろ、と夢中です。生命は分子の淀み。なんてユニークで魅力的な世界観。クセになりそう。一話完結型で、つまみぐいしやすいのも、うれしい。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ひきこもり ☆☆☆☆	物理学や経済学等、要素還元主義からの脱却をはかっている時なのですかね。動的平衡の考え方も面白えーってなりました。			
	1-240ページ	240P (180分)		2012/12/17 22:37:19

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

働かないアリに意義がある

著者名	長谷川英祐	発行年	2010年
出版社名	メディアファクトリー新書	ページ数	189ページ
値段	740円	ISBN	978-4840136617
コメント	働きアリって言ったって、20%しかマジメに働いてないんだぜ。そこまでは有名なお話。じゃあ何で20%なの？残りの80%は何のために存在するの？と問い始めると、いっけん非効率なシステムがじつはコロニーとしての優れた生き残り戦略だったことが分かってきます。サボる口実を探したい時にもどうぞ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
TDF ☆☆☆☆☆	とても面白い本で、人とアリの社会システムを進化の点から論じている。常識を覆されたし、説明もわかりやすい。			
	10-189	180P (70分)	第3章	2013/02/14 20:03:03
ばず ☆☆☆☆☆	一見無駄に思えることも実はちゃんと理由があってそうなるということが分かって良かった。			
	26-185	160P (90分)		2013/01/29 08:41:14
homes ☆☆☆	生物学のことは全くわからないけど、なかなかいろんな実験のことなど書いてあって豆知識も増えて読むべき本です！			
	1-189	189P (150分)		2013/01/16 22:51:24
わに ☆☆☆	いつだったか、“爆問学問”で見たのだが、高度な知能を持ち自分で意思決定をしているかに見える人間だが、それは本当なのか？という内容だったと思う。アリは特殊な液体を地面に落としながら進むので、その後を他のアリも続いて行進する。人間も同ような、遺伝子に組み込まれた行動システムが存在し、自分の意思なんかではなく、その情報に従って行動しているだけなのかもしれない。			
	1-109	109P (30分)	各章のポイント	2013/01/16 17:41:31
TT ☆☆☆	アリを例にして人間社会のことを解説している本かと思っていたが、意外に生物的な解説がたくさん入っていて面白かった。			

	1-189	189P (200分)		2012/12/11 00:29:02
sn9 ☆☆☆☆	なかなか興味ぶかい内容だった。			
	1-189	189P (240分)		2012/11/26 14:06:18
若陸 ☆☆☆	これを読んでも人間が働かない理由は見つかりません。 ヒトほど高度な知能を持たないはずのアリが、どうしてそこまで複雑で(コロニー全体の効率面で)理想的な社会を築けるのか。という謎に迫ります。 なるほど、働かないことにも理由があるんですね。 働かない者を、必要なファクターとして社会が認めてくれている限りでは。			
	1-189	189P (180分)		2012/11/20 15:43:21
だれそれ ☆☆☆☆	働いているアリは少数派だということに驚いた。 生物は、受験科目として使わなかったため、中学以来全くやっておらず、知識がないに等しかったが、そんな筆者でも読むことができた。			
	P1-189	189P (150分)		2012/11/13 23:27:43
ポール ☆☆☆☆	共感するところもあれば、納得のいかないところもあり面白かったです。			
	1-189	189P (300分)	186-189	2012/11/13 13:12:24
東海大 ☆☆☆☆	働きアリのうち20%が働かないことは知っていたが、全く働かないわけではなく、必要な仕事ができるときにはしっかりと働いており、緊急事態の時のためには働かないアリも必要であることなど、人間とアリでも共通することが結構あって参考になった。			
	1-189	189P (150分)		2012/10/30 23:22:34
うーば ☆☆☆☆☆	自然選択説があんなことやこんなことにも使われているなんて、と驚きばかり。 何も考えてなさそうで実はどこまでも合理的なムシの世界。まだまだ解明されてないことも多いけど、そんなムシの世界をちょっと覗き見。			
	1-189	189P (135分)	54-57	2012/10/23 23:11:18
R2D2 ☆☆☆	生物好きにオススメ。交配の主役たるオス・メスが皆クローンで、働きアリも産むけど、生まれた働きアリは一代しか生きられない、というあるヤマトシロアリの生態に驚愕した。 「フリーライダーが増えすぎると、そのコロニーは滅びる」という知見が、人間社会に対する警句めいていて面白い。			
	1-189ページ	189P (130分)		2012/10/17 01:51:17
たきごはん ☆☆☆☆	ごく簡単なプログラムに従って動くだけのアリが、いかにして社会集団を作っているのか？というところが興味深かった！自然の中につくられた、秀逸な社会システムの話。社生生としては読んでおくべき本かも？			
	9-109	101P (120分)	31-34	2012/10/16 01:39:34

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

宇宙は何でできているのか

著者名	村山 斉	発行年	2010年
出版社名	幻冬舎新書	ページ数	226ページ
値段	800円	ISBN	978-4344981881
コメント	宇宙のほとんどはからっぽ？ トンデモナイ！ ダークマターが23% ダークエネルギーが73% なんですね、ホントの話。 超ムズカシイ。でも、最先端をみんなと共有したい、という著者の志が熱い一冊です。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
TDF ☆☆☆☆	入門書だと思うけど、普段はほとんど触れない分野なので、さすがにキツイ。 説明はわかりやすかったと思う。			
	1-103、145-226	185P (180分)	第1章	2013/02/14 19:38:09
しゅ ☆☆☆	どっかで聞いたような話もあったけど、よくわからない部分も多々あった。むず。			
	全部	226P (120分)		2013/02/11 19:45:06
H ☆☆☆	宇宙の成り立ちなどを分かりやすい文体で書いています。とても面白いです。			
	60-103	47P (60分)	83,84	2013/01/31 13:12:53
renkon ☆☆☆☆	4章は難しいので軽く読み流した。高校であまり深く学べなかった素粒子の話がわかりやすく書かれていてよかった。 宇宙を構成する4%のエネルギーが原子、残りの96%は謎に包まれているだなんて、ぞっとする…			
	1-226	226P (180分)	1,2,5章	2013/01/17 01:21:24
うーぱ ☆☆☆☆	初めて聞く言葉が多くて混乱するけど、一つひとつの説明は分かりやすい。 宇宙って不思議なことがいっぱいだなー。			
	1-226	226P (180分)	128-130	2012/11/15 00:45:40

ひきこもり ☆☆☆☆	ダークマター、ニュートリノ、相対性理論…理系なら聞いただけで何か湧きたてられるものがありますよね 宇宙のロマンは無限大。			
	12-226	215P (120分)		2012/11/09 08:18:17
R2D2 ☆☆☆☆	素粒子物理学の話題は高校までのあまり詳しく扱われなかったので、このように最新の知見をユーモアたっぷりに披瀝してくれてためになる。 近日99%の確かさで発見されたと言われる「ヒグス粒子」について本書中（2010年当時）では、著者は「正体のわからないものに名前をつけると、それだけで何かわかったつもりになりやすい」(p.188)と消極的な記述をしていて、これも面白い。			
	1-226ページ	226P (175分)		2012/11/04 15:07:51
たきごはん ☆☆☆☆	寝る前にオススメの一冊。話のスケールが日常生活とあまりにも違うので、疲れた心を遠い世界へ連れて行ってくれます。 著者近影のイメージ通り(笑)、とてもユーモラスで優しい語り口で、宇宙や素粒子の難しい話をしてくれます。子供の頃、こんな先生に教わりたかった。量子力学についても、わかりし直感的で分かりやすい解説をしているので、化学第一・第二でちんぷんかんぷんだった人にもオススメ。			
	11-143	133P (100分)	75-77	2012/10/16 01:27:25

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

はやぶさの大冒険

著者名	山根一真	発行年	2010年
出版社名	マガジンハウス	ページ数	288ページ
値段	1,365円	ISBN	978-4838721030
コメント	各ページの右端にご注目。パラパラパラ……。こんな小さな仕掛けからも、著者の山根さんが、はやぶさに寄せる思いが伝わってきます。はやぶさの誕生から帰還まで、ゆっくりじっくり見つめてきたライターさんならではの思いの結晶。——おかえりはやぶさ。君は最後の最後まで大したやつだった。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
Shin Murota ☆☆☆☆☆	はやぶさの話は涙流さずにはいられない。			
	1-288	288P (120分)		2013/02/14 07:14:54
ばず ☆☆☆	右端のばらばらマンガが遊び心があってよかった。			
	12-286	275P (150分)		2013/01/25 10:58:15

[TOP](#)へ